

辻議員（共産）

平成27年12月10日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）正規採用教員の増員による教育条件の整備について

2015年度の広島県の加配定数は869人、加配率は6.6%で、全国最低水準である。

定数内臨時教員を多数採用するなど、本県の安上がりの「定数政策」の抜本的な転換が求められている。

全ての子供たちに行き届いた教育をするためにも、身分の安定した正規任用者を大幅に増やし、教育条件整備を進めるべきだと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

新規採用教員数につきましては、今後の退職者の増加に対応して、計画的に増やしているところであり、平成22年度以降は、700名から870名程度まで増加をさせて採用してきているところでございます。

しかしながら、近年、児童生徒数が減少しているため、将来の教職員定数の減少を勘案する必要があることや、優秀な人材を確保する観点から、採用数を大幅に増やすことは難しい状況でございます。

教育委員会といたしましては、教育環境を整えるために、今後とも、中長期的な視点に立って、必要な正規教員の採用に努めてまいりたいと考えております。